

入善町議会報告

発行 議会会派 日本共産党
2025年 入善町春日251
9月25日 電話・FAX 74-0819

9月議会



松田俊弘 議員

田中教育委員会事務局
長は「交付金の補助要件で
ある断熱性確保について、
どのくらいの断熱改修が必
ずしている」と質しました。

松田議員は「今年度から
でも調査すべきだ。遅くな
れば多くの自治体と競合す
ることになる」と質問。

笹島町長は「断熱改修に
どういった調査をすればよ
いかを今年度に筋道をつけ、
来年度から実施したい」と
答えました。

当面はスポット
クーラーで対応を
松田議員は「スポットクー
ラーは設置が簡単で値段も
安い。当面はスポットクー
ラーで対応してはどうか」
と質問。

田中事務局長は「空調設
備の整備には一定の時間が

必要で、スポットクーラー
もある程度効果があると
考える。学校とも相談のう
え、設置について検討してい
きたい」と答弁。

課長は「免許返納者は令和
4年度は162人、令和5
年度で118人、令和6年
度が138人だ。かつてのら
んマイ・カーでバス停が遠
くて利用したくても出来な
い」という声を受け「デマンド
交通ウチマエくんを導入し
た経緯がある。朝に特に予
約が取れない状況ではない
が、予約の不成立を改善す
るため、増車も含め町タク
シー協会との協議を継続し
ている」と答弁。

子どもの健康と避難所環境に設置は急務 来年度に断熱性を調査

一般質問で松田俊弘議員
は「猛暑から子どもたちを

守り、避難所としての環境
改善に、体育館のエアコン設
置を急ぐべきだ。政府も新
たな交付金制度を設け促
している」と質しました。

要かの調査を来年度に実施
する。その結果を踏まえ空
調設備の整備にかかる方向
性を検討していく」と答え
ました。



望まれる体育館のエアコン

井田議員は「ここ3年間の
免許返納者の推移はどうか
一番利用の多い買い物や通
院のためのバスを復活すべ
きだ」と質しました。

若林キラキラ商工観光



町営バス「のらんマイ・カー」

問われているのは物価高
の無策、裏金疑惑への無反
省、アメリカ言いなりの関
税交渉や大軍拡など、大企
業とアメリカ優遇で国民生
活を顧みない今の政治のあ
り方そのものだと考えます。
消費税減税やガソリン減
税など国民の切実な願いに
は背を向け、国民の主食で
あるコメの安定供給もかな
わず、現金給付も言葉だけ
で実現しませんでした。

勢力争いに明け暮れるの
ではなく一刻も早く臨時
国会を開き、国民生活を守
る諸課題に取り組むべきで
す。

あいの風とやま鉄道 設置意向を表明



井田義孝 議員

今年度の3月議会で、日本
共産党の井田義孝議員は
入善駅にエレベーターを設
置するよう質問しました。

これに対し町は、入善駅
にエレベーターを設置する
ため、駅周辺バリアフリー
基本構想を作成すると表
明しました。



入善駅

「画」と報じました。
9月議会の代表質問で井
田議員は「入善駅への具体
的なエレベーター設置計画
があるのか。3月から何が
進展したのか」と質しまし
た。

竹島副町長は「国の補助

公共交通 買い物や通院のためのバス復活で ウチマエくんの不便解決を

を受けるためのバリアフ
リー基本構想の策定、その
後あいの風とやま鉄道の中
長期計画へのエレベーター設
置位置づけ、という手順は
変わらないが、6月23日に
開催されたあいの風とやま
鉄道利用促進協議会で、日
吉取締役会長から「多少時
間がかかるかもしれないが
入善、黒部、泊の三駅とも

エレベーター設置の方向で
進んでいる」との発言があっ
た。町のバリアフリー基本
構想の進捗と合わせて大き
く前進したものと捉えてい
る」と答えました。

井田議員は「バリアフリー
は今年度中に策定
竹島副町長は「高齢者や
障がい者団体等の代表者な
どで組織する『入善町バリ
アフリー推進協議会』を設
置した。今後は、アンケー
ト調査や委員による現地
点検を実施するなどして協
議を重ね、今年度中に策定
する計画だ」と答弁。

石破政権のあとに、より
右翼的な政権が出現する
のを懸念してか、石破やめ
るなデモが開催されたり、
選挙で連敗し国内政治でも
結果が出せない政権に石破
辞めるデモが開催されたり
しました。

石破政権のあとに、自民
党内の首のすげ替えて国民
の暮らしが良くなるので
しょうか。

アラカルト

井田議員は質問の冒
頭、以下のように述べ
ました。

石破首相が辞意を表
明しました。石破氏に辞任
を迫ったのは旧安倍派の裏
金疑惑の議員たちでした。
これでは国民不在の自民党
内での勢力争いにすぎませ
ん。

今年も猛暑でコメの品質や収穫量が懸念されていますが、新聞発表等では富山県の作況指数は平年並みとのことでした。

しかし、農家に支払われる概算金が大幅に上がり、新米の値段の高騰が報じられています。



井田義孝議員

令和7年度産米 町長 平年より収量多くなると予想 5キロ4千円を超えないよう概算金設定

5人世帯一人分の2.7倍 不公平な料金体系の見直しを 1人世帯の 下水道使用料

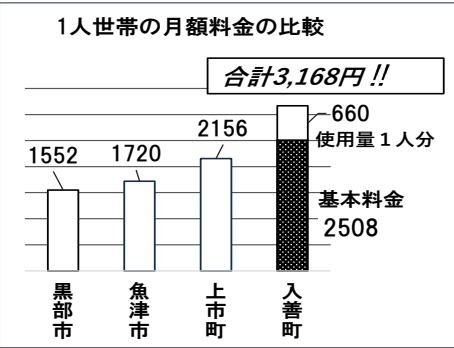


松田俊弘議員

多人数世帯の割安分を少人数世帯が負担

町の下水道使用料は、一軒あたり2508円という高い基本料金を徴収しているため、1人世帯の使用料が5人世帯の2.7倍と不公平な料金体系となっています。

松田議員は「1人世帯、2人世帯の使用料は県内で最も高い。特に1人世帯は黒部市の2倍だ。逆に5人世帯以上になると入善町



の方が割安になる。基本料金は廃止し、水の使用量に応じた料金体系に近づけるべきだ」と質しました。

国友水道課長は「少人数世帯の負担を軽減すると、多人数世帯の負担が重く

井田議員は「当町のコメの作況はどうか。新米の値段の見込みについて把握しているか。流通大手による買い占めなどで、縁故米などのコメ供給に不安を感じている人がたくさんいる。コメ供給の見通しをどう捉えているか」と質しました。

笹島町長は「県新川農林振興センターによれば、コシヒカリは平年より穂数が多く、穂数が多いと見

お米券の支援策は

井田議員は「もし高いコメを並んで買うしかない事態になった場合、町



入善産コシヒカリの新米

民にお米券などの支援策を考えているか」と質問。

町長は「特定の支援は考えていないが、物価高騰など町民生活の支援に努めていきたい」と答弁。

松田議員は「各校長とコーディネーターとの協力体制は確立されているか」と質しました。

増え続ける発達障がいな子どもに対応するため、町は昨年より学校とは別に、教育センターに特別支援教育コーディネーターを配置しました。

発達障がいの子ともと保護者の支援に コーディネーターの継続的な養成を

世帯が負担している。使用料に基本料金を設けているのは国内ではまれで、早急に見直すべきだ」と質問。

竹島副町長は「決して今の料金体系がベストと断言していないが、(議会の)特別委員会と相談しながら、今回一律20%の引き上げをした」と答弁。

負担の大きい高齢者世帯に財政的な支援を

松田議員は「1人世帯、2人世帯の半数以上が高齢者のみの世帯だ。高齢者世帯に財政的支援を行うべきだ」と質問。

国友課長は「高齢者世帯への財政支援は、現時点では難しい」と回答しました。

小川教育長は「これまで、保護者と学校との共通理解が進まない面もあったことから、専門職として配置した。小・中学校に精力的に出向いてもらい、保護者と学校をつなぐ役割を果

たしてもらっている」と答弁。

松田議員は「センターに配置されたコーディネーターは、特別支援教育に長けた教員経験者だが、今後、どのようにしてコーディネーターを養成していくの

保育士の増員で負担の軽減を 異常な国の配置基準を基準とせず

国の保育士配置基準では保育士1人が受け持つ子どもの数は、4歳児・5歳児で25人と先進国の平均のほぼ2倍で、異常な基準だと指摘されています。

松田議員は「保育士から負担が大きいとの訴えがある。国に配置基準の改善を求めると同時に、町が保育士を増やすなど抜本的な負担軽減策を取るべきだ」と質しました。

野村結婚子育て応援課

長は「町では、余裕を持った運営ができるよう、国の配置基準よりも充足した配置にしている。また、清掃や保育の補助等を行う保育補助員を配置している。さらに、多岐にわたる事務の軽減に、昨年、保育業務支援システムを導入した。しかしながら、保育ニーズは多様化の一途をたどっていることから、今後の推移を見守りながら、必要に応じて的確に判断していきたい」と答弁しました。

保育士一人が受け持つ子どもの人数					
	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
日本	6	6	15	25	25
カナダ	4	4	8	8	8
ニューヨーク	4	5	7	8	9
オーストラリア	4	5	11	11	11
スウェーデン	4	4.3	5.6	5.6	5.6
イギリス	3	4	13	13	13
韓国	5	7	15	20	20
日本以外の平均	4	5	10	11	11



うるおい館内の教育センター

か」と質問。

教育長は「学校内に配置されているコーディネーターは、学校内の特別支援教育に係る調整を行っている。また年3回、センターのコーディネーターが中心に運営する研修で資質向上を図っている。実践と研修で、特別支援教育を牽引できる人材の育成につなげたい」と答弁しました。

